

話題の映画@茨木

2023年4月26日(水) ①10:30 ②14:00 ③19:00 (各回30分前開場)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール

この戒めを破り
明日を生きる

破

間宮祥太朗

石井杏奈 矢本悠馬

高橋和也 小林綾子 七瀬公 ウーイエイよしたか 大東駿介

竹中直人・本田博太郎・田中要次

石橋蓮司 眞島秀和



戒

原作:島崎藤村「破戒」 監督:前田和男 脚本:加藤正人 木田紀生 音楽:かみむら周平

製作総括:組坂繁之 エグゼクティブプロデューサー:西島徳彦 プロデューサー:中鉢裕幸 福島宏樹/加藤和夫 川崎 岳 キャスティングプロデューサー:榎岡康裕 音楽プロデューサー:津島玄一 宣伝プロデューサー:手嶋亮介
撮影:日下誠 美術:吉田孝 照明:東田勇児 録音:近藤純兼 映像:今西貴光 ナーフ監督:六車輝宣 編集:山口 健 整音:桜田佳美 音響効果:田代博司 スクリプター:永倉美香 装飾:石村嘉宏 持道具:吉田藤司 電飾:辻 俊安
和装:中本敏弘 VEX:北 昌親 衣裳:清水正太 メイク:広瀬紀代英 結髪:松浦真理 殺陣:清家一守 演技事務:塚田しほみ 製作主任:東浜孝次 製作担当:岡田淳也
企画:製作:全国水平社創立100周年記念映画製作委員会 制作:東映 制作協力:配給:東映ビデオ 制作プロダクション:東映京都撮影所 文部科学省認定 ©全国水平社創立100周年記念映画製作委員会



島崎藤村、不朽の名作「破戒」を60年ぶりに映画化。





なぜ自分の故郷を語れない。
なぜ好きな人に気持ちを伝えることができない。

過去に木下恵介監督、市川崑監督と名だたる巨匠が映画化してきた島崎藤村・不朽の名作「破戒」を2022年の今年、旬なキャストで映画化。主演・丑松を務めるのは、近年、映画やドラマで多彩な活躍が目覚ましい間宮祥太郎。自らの出自に悩み続け、最後に、ある告白をする難役を気迫のこもった芝居で表現。相手役・志保を演じるのは若手女優の中でも特に演技への評価が高い石井杏奈。丑松の親友・銀之助役に、出演作のオファーが相次ぐ矢本悠馬。ほか眞島秀和、高橋和也、竹中直人、本田博太郎、田中要次、石橋蓮司、大東駿介、小林綾子など名優たちが顔をそろえ、クオリティの高いドラマを作り上げている。脚本は『クライマーズ・ハイ』『孤高のメス』で数々の受賞歴を誇る加藤正人と『バトル・ロワイアルII鎮魂歌』の木田紀生が担当。監督は椎名桔平主演の映画『発熱天使』（高崎映画祭招待作品）の前田和男。

◎ 物語 ◎

瀬川丑松（間宮祥太郎）は、自分が被差別部落出身ということを知り、地元を離れ、小学校の教員として奉職する。彼はその出自を隠し通すよう、父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師であったが、出自を隠していることに悩み、差別の現状を目の当たりにして心を乱しつつも下宿先の士族出身の女性・志保（石井杏奈）との恋に心を焦がしていた。同僚教師・銀之助（矢本悠馬）の支えがあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始める。苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子運太郎（眞島秀和）に傾倒していく。丑松は「人間はみな等しく尊敬をもつものだ」という猪子の言葉に強い感動を感じるが、猪子は政敵の放った暴漢に襲われる。この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に、教え子たちが待つ最後の教壇へ立とうとする。



<http://hakai-movie.com/> @hakai_movie @hakaimovie ©全国水平社創立100周年記念映画製作委員会

日本語字幕付き上映
(上映時間119分)

2023年4月26日(水) ①10:30 ②14:00 ③19:00

【全席自由】1,000円 (大阪映画センター会員の方は900円)

※就学前のお子様はご遠慮ください ※残席がある場合、各回30分前から当日券を販売します。

※必ずマスク着用でご来場下さい
※体調不良や発熱がある場合はご来場をお控え下さい
※状況により急遽中止とする場合もありますので、前日にお問い合わせ下さい

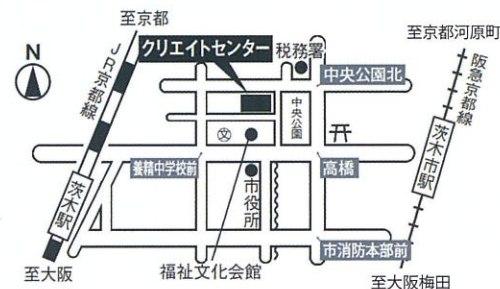
◆チケットのお取扱い・お問合せ [2023年1月26日(木)発売開始]

(公財) 茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055(10:00~17:00)

○クリエイトセンター1階チケットカウンター(10:00~17:00)

○福祉文化会館3階チケットカウンター(10:00~17:00)

◆主催・お問合せ 株式会社大阪映画センター ☎06-6719-2233



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。

茨木市駅前四丁目6番16号/072-624-1726